

平成17年度 東北地方整備局の補正予算概要

平成18年 2月 3日
東北地方整備局

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局

(港湾空港関係以外) TEL 022-225-2171 (代)

(港湾空港関係) TEL 022-716-0005 (ダイヤル)

総括：企画部 企画課長	やざき 矢崎 剛吉 (内線3151)
都市・住宅 公園関係：建政部 都市・住宅整備課長	いわさき 岩崎 宏和 (内線6161)
河川関係：河川部 河川計画課長	こんどう 近藤 修 (内線3611)
道路関係：道路部 道路計画第一課長	はやし 林 雄一郎 (内線4211)
港湾空港関係：港湾空港部 港湾計画課長	あさやま 麻山 健太郎 (内線6311)
営繕関係：営繕部 計画課長	ひらた 平田 哲人 (内線5151)
会計関係：総務部 会計課長	おおぞね 大曾根 城次 (内線2411)

平成 1 7 年度
東北地方整備局の補正予算概要

目 次

1 . 平成 1 7 年度補正予算の概要	1
2 . 平成 1 7 年度補正予算による主な事業のポイント	3
主要事業箇所説明資料	7

1. 平成17年度補正予算の概要

国土交通省関係補正予算については、平成17年の発生に係る台風等による被害の早期復旧のための災害復旧費に加え、再度災害防止、緊急震災及び公共交通の安全確保並びに安全上問題のある建築物及びアスベストに係る対策として一般公共事業費等予算が計上されております。

一般公共事業等予算の配分に当たっては、災害対策及び構造計算書偽装やアスベストにより安全上問題のある建築物対策のため緊急的に必要な事業に重点的かつ効率的な配分を行うこととしております。

東北地方整備局関係の補正予算については、

- ・ 災害予防対策に係わる一般公共事業等として約211億円
- ・ 公共事業の発注平準化措置として国庫債務負担行為（ゼロ国債）約407億円

の計約618億円が計上されております。

平成17年度 補正予算事業費構成 (東北地方整備局 全体)

(単位:百万円)

区 分	平成17年度 当初予算	平成17年度補正予算		補正計
		一般公共事業費等 (平成17年度歳出分)	国庫債務負担行為 (ゼロ国債)	
治水	177,000	7,958	8,489	16,447
海岸	6,377	447	1,223	1,670
道路	475,721	7,240	20,239	27,479
港湾	28,356	2,048	5,271	7,319
空港	1,184	-	-	-
住宅	17,671	1,898	350	2,248
市街地	39,173	-	822	822
都市水環境	4,082	-	80	80
下水道	124,405	1,316	2,596	3,912
都市公園	14,826	66	1,624	1,690
営繕	1,924	142	-	142
合計	890,719	21,115	40,694	61,809

（東北地方整備局 直轄事業費）

（単位：百万円）

区 分	平成17年度 当初予算	平成17年度補正予算		補正計
		一般公共事業費等 (平成17年度歳出分)	国庫債務負担行為 (ゼロ国債)	
治水	102,346	6,799	6,505	13,304
海岸	929	130	421	551
道路	241,091	4,210	15,096	19,306
港湾	20,397	1,880	4,560	6,440
空港	1,184	-	-	-
都市水環境	1,814	-	80	80
都市公園	1,925	-	-	-
営繕	1,924	142	-	142
合計	371,610	13,161	26,662	39,823

（東北地方整備局 補助事業費）

（単位：百万円）

区 分	平成17年度 当初予算	平成17年度補正予算		補正計
		一般公共事業費等 (平成17年度歳出分)	国庫債務負担行為 (ゼロ国債)	
治水	74,654	1,159	1,984	3,143
海岸	5,448	317	802	1,119
道路	234,630	3,030	5,143	8,173
港湾	7,959	168	711	879
住宅	17,671	1,898	350	2,248
市街地	39,173	-	822	822
都市水環境	2,268	-	-	-
下水道	124,405	1,316	2,596	3,912
都市公園	12,901	66	1,624	1,690
合計	519,109	7,954	14,032	21,986

平成17年度に発生した災害の早期復旧を図る「災害復旧等関係」については、現在精査中のため、上記事業費には含まれておりません。

2. 平成17年度補正予算による主な事業のポイント

(P)は、主要事業箇所
説明資料のページです。

災害等防止関係

洪水・高潮等対策

【洪水等対策】

《河川関係》

(直轄事業)

近年、度重なる浸水被害が発生している“**岩木川中流部板柳地区**”(青森県北津軽郡板柳町～南津軽郡藤崎町)において、浸水被害の軽減を図るため、**堤防整備を推進**します。(P7)

一関遊水地事業“**北上川右岸衣川地区**”(岩手県西磐井郡平泉町)において、浸水被害の軽減を図るため、**堤防整備を推進**します。(P8)

近年、度重なる浸水被害が発生している“**北上川下流支川南沢川**”(宮城県登米市津山町)において、浸水被害の軽減を図るため、**堤防整備を推進**します。(P9)

流下能力が著しく低い“**雄物川上流福部羅地区**”(秋田県大仙市)において、浸水被害の軽減を図るため、**堤防整備等を推進**します。(P10)

住宅地への浸水被害が発生している“**最上川中流真室川地区**”(山形県最上郡真室川町)において、浸水被害の軽減を図るため、**堤防及び排水樋門を整備**します。(P11)

(補助事業)

近年、市街地への度重なる浸水被害が発生している“**木賊川**”(岩手県盛岡市、岩手郡滝沢村)において、**分水路工事に着手**します。(P12)

《下水道関係》

(補助事業)

豪雨による市街地の浸水被害を防止するため“**岩手県大槌町**”、“**宮城県仙台市**”、“**秋田県大館市**”において、下水道の**雨水排水施設を整備**します。(P13)

【波浪や高潮、海岸侵食対策】

《海岸関係》

(直轄事業)

高波による海岸背後の市道の浸水や海岸保安林の浸食流出などの被害が発生している“**仙台湾南部海岸蒲崎工区**”(宮城県岩沼市)において、**堤防整備を推進**します。(P14)

(補助事業)

台風や冬季風浪による浸水被害や国道の通行止めが発生している“**奥戸海岸**”(青森県下北郡大間町)において、被害軽減を図るため**離岸堤の平成17年度完成**を目指します。(P15)

波浪による侵食又は災害を防ぐため、沖に海岸線とほぼ並行に設置する消波ブロック堤

土砂災害対策

《砂防関係》

(補助事業)

えん堤下流部の家屋や一般国道4号の土砂災害に対する安全性向上を図るため、火山砂防事業“**高屋敷沢2号えん堤**”(青森県三戸郡南部町)の**平成17年度完成**を目指します。(P16)

大規模地震・津波対策

【大規模地震対策】

《道路関係》

(直轄・補助事業)

大規模災害時の救助活動や、緊急物資輸送に不可欠な**緊急輸送道路を確保**するため、一般国道13号“**新岩崎橋**”(秋田県湯沢市)他21橋において、**橋梁の耐震補強工事**を実施します。(P17)

《港湾関係》

(補助事業)

大規模地震発生後、海上からの緊急物資等輸送に不可欠な**緊急物資輸送拠点と緊急物資輸送ルート**を確保するため、“**八戸港八太郎地区**”(青森県八戸市)において**防災拠点緑地の整備**および**蓮沼陸橋の耐震改良工事**を実施します。(P18)

《営繕関係》

(直轄事業)

大規模災害の発生に備え、**塩釜市の一時避難場所**に指定されている“**塩釜港湾合同庁舎の会議棟**”(宮城県塩釜市)の**耐震補強工事**を実施します。

(P19)

【津波対策】

《港湾関係》

(直轄事業)

津波被害の軽減及び冬期風浪や台風による災害の未然防止のため、
“**八戸港外港地区**”(青森県八戸市)、“**宮古港竜神崎地区**”(岩手県宮古市)、“**石巻港雲雀野地区**”(宮城県石巻市・東松島市)、“**小名浜港東港地区**”(福島県いわき市)において、**防波堤整備を推進**します。(P20)

《河川関係》

(補助事業)

河川への津波遡上を防ぐ河川防潮水門について、津波来襲時の即応的な閉扉操作ができるように“**八幡川防潮水門**”(宮城県南三陸町)の**遠隔操作設備を整備**し、旧志津川町市街地の津波対策の**平成17年度完成**を目指します。

(P21)

安全で安心できる道路交通の確保

《道路関係》

(直轄事業)

落石の恐れがある区間の**代替機能を確保**し、より安全で信頼性のある交通の確保等を目的とした一般国道45号“**矢本石巻道路**”(宮城県石巻市)において、**改良工事等を推進し平成18年度の全線供用**を目指します。(P22)

通行規制区間等の交通隘路区間の代替道路として、一般国道283号“**仙人峠道路**”(岩手県釜石市～気仙郡住田町)の整備を推進し、**平成18年度全線供用**を目指します。(P23)

供用後30年以上を経過し設備の老朽化が著しい一般国道46号“**仙岩トンネル**”(秋田県仙北市)の**非常用設備等**について、事故や災害時、設備が確実に使用できるよう**更新**します。(P24)

(補助事業)

落石の恐れがある区間を、安全で信頼性の高い交通を確保するため、一般国道279号“**易国間地区防災対策事業**”(青森県下北郡風間浦村)において、**斜面の不安定な露出岩盤の除去を実施**します。(P25)

．アスベスト対策関係

多数の人が利用する**民間建築物のアスベスト対策**として、アスベスト調査に対して支援を行います。

また、**アスベスト対策が必要な公共施設**についても、施設利用者の健康被害を未然に防ぐため**アスベストの除去**を実施します。(P26)

主要事業箇所説明資料

事業区分：河川、直轄事業

事業名	いわきがわちゅうりゅうぶいたやなぎ 岩木川中流部板柳地区改修事業（直轄） （青森県北津軽郡板柳町～南津軽郡藤崎町）									
事業着手：平成5年度	完成・供用の目標年度：平成20年度暫定完成									
事業の必要性・事業の概要	青森県									
<p>「事業の必要性」 岩木川中流部の板柳地区は、堤防の無い箇所が残されており、上下流部に比べ洪水時の流下能力が低い地区となっています。近年では平成9、14、16、17年と洪水が頻発しており、堤防の整備による治水安全度の向上が急務となっています。</p> <p>「事業の概要」 板柳町飯田地区から藤崎町白子地区の約1.2km区間において築堤を実施し、無堤箇所解消を図ります。</p>	  <table border="1" data-bbox="175 1288 422 1444"> <thead> <tr> <th colspan="2">凡 例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H17まで</td> <td>黒色</td> </tr> <tr> <td>H17補正</td> <td>赤色</td> </tr> <tr> <td>H18以降</td> <td>緑色</td> </tr> </tbody> </table>		凡 例		H17まで	黒色	H17補正	赤色	H18以降	緑色
凡 例										
H17まで	黒色									
H17補正	赤色									
H18以降	緑色									
平成17年度補正予算による事業内容	用地取得及び築堤L = 400mを行い、事業の進捗を図ります。									
平成17年度補正事業費：565百万円										
事業効果										
事業進捗により岩木川中流部右岸地区の治水安全度を向上させます。										

事業区分: 河川、直轄事業

事業名	一関遊水地建設事業(直轄)(北上川右岸衣川地区) (岩手県一関市～胆沢郡前沢町)
------------	---

事業着手: 昭和47年度	完成・供用の目標年度: 平成20年度完成予定
---------------------	-------------------------------

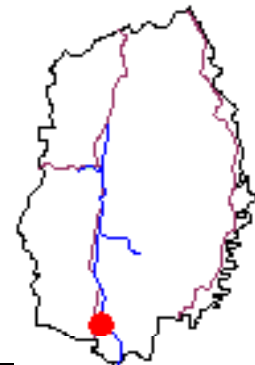
事業の必要性・事業の概要	岩手県
---------------------	-----

「事業の必要性」

一関遊水地事業では周囲堤や本支川の堤防の整備を進めてきましたが、衣川地区は無堤箇所であるため、戦後3番目の大規模な洪水となった平成14年7月洪水(台風6号)では、家屋浸水(23戸)や国道4号の冠水による通行止めなど甚大な被害を受けました。このため、堤防整備を早期に実施し、治水安全度の向上を図る必要があります。

「事業の概要」

衣川地区の本川堤防L = 2,100mのうち延長L = 550mの築堤を実施し、同地区における無堤地区の解消を図ります。



平成17年度補正予算による事業内容

衣川地区の無堤解消に向け、築堤L = 550mを行い、事業の進捗を図ります。(一遊水地事業の促進)

平成17年度補正事業費: 530百万円

事業効果

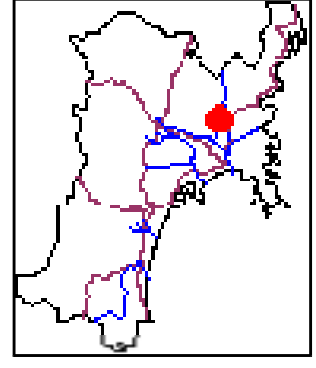
過去、死者行方不明者200名以上の甚大な被害をもたらした昭和22年9月カスリン台風、昭和23年9月アイオン台風規模の洪水から衣川地区を守ります。

事業区分:河川、直轄事業

事業名	<small>きたかみがわりゅう みなみさわがわ</small> 北上川下流支川南沢川改修事業（直轄） （宮城県登米市津山町）
------------	---

事業着手:平成13年度	完成・供用の目標年度:平成19年度完成予定
--------------------	------------------------------

事業の必要性・事業の概要	宮城県
---------------------	-----



「事業の必要性」

北上川に合流する支川南沢川は、その合流点付近に旧津山町の中心市街地がありますが、南沢川の流下能力が低く、H10,11,14年と近年相次いで浸水被害が発生する水害常襲地区となっています。また、浸水区域には、災害弱者施設や行政機関などがあることから、これまで堤防整備を進めてきており、早期の治水安全度の向上が必要となっています。

「事業の概要」

南沢川下流部約2.5km区間において、河道掘削、築堤、橋梁の改築等による治水対策を実施するものです。



平成17年度補正予算による事業内容	
--------------------------	--

築堤L=200mを行い、事業の進捗を図ります。

平成17年度補正事業費:140百万円

事業効果

事業の進捗により、旧津山町市街地の浸水被害の軽減を図ります。

事業区分: 河川、直轄事業

事業名	おものがわじょうりゅう 雄物川上流河川改修事業(福部羅地区) (直轄) (秋田県大仙市)
------------	--

事業着手: 平成15年度	完成・供用の目標年度: 平成23年度暫定完成
---------------------	-------------------------------

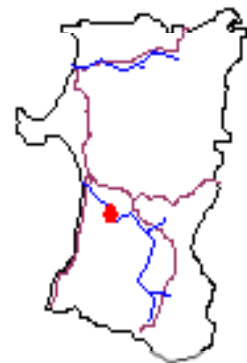
事業の必要性・事業の概要	秋田県
---------------------	-----

「事業の必要性」

雄物川の中流部に位置する福部羅地区は無堤部となっており、現況の洪水流下能力が著しく低く、出水すると主要道路が冠水し集落が孤立化する等の被害が発生しております。また、防災対策上重要な箇所でもあり、治水安全度の向上が急務となっています。

「事業の概要」

無堤地区となっている福部羅地区において、築堤等を実施することにより治水安全度の向上を図ります。



雄物川における水防活動(平成16年7月)

平成17年度補正予算による事業内容

築堤、用地補償を行い、事業の進捗を図ります。

平成17年度補正事業費: 2,317百万円

事業効果

事業進捗に伴い、福部羅地区の治水安全度の向上が図られます。

事業区分:河川、直轄事業

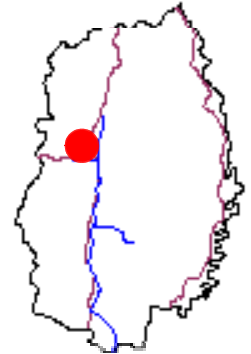
<p>事業名</p>	<p>最上川中流支川真室川改修事業 (直轄) (山形県最上郡真室川町)</p>	
<p>事業着手:平成17年度</p>	<p>完成・供用の目標年度:平成18年度予定</p>	
<p>事業の必要性・事業の概要</p>	<div style="text-align: right;">山形県</div> 	
<p>「事業の必要性」 最上川中流支川鮭川に合流する真室川の左岸下流部(秋山沢川合流点付近)は、無堤部となっており、平成16年7月出水時には、市街地の浸水被害が発生しております。 浸水想定区域内には、町立病院や特別養護老人ホーム等が一体となった総合医療福祉施設等の災害弱者施設があり、早期の治水対策が必要となります。 浸水想定区域とは、計画降雨により氾濫した場合に浸水が予想される区域</p> <p>「事業の概要」 真室川下流部L=430m区間において、排水樋門及び築堤による治水対策を実施するものです。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;">   </div> <p style="text-align: center;">H16.7出水 河川状況</p> <div style="margin-top: 10px;"> <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ H17補正築堤 ■ H17補正 ■ 平成16年7月出水浸水区域 ■ 浸水想定区域 </div>		
<p>平成17年度補正予算による事業内容</p>		
<p>排水樋管1基及び築堤L=430mを行い、無堤部解消を行います。</p>		
<p>平成17年度補正事業費:200百万円</p>		
<p>事業効果</p>		
<p>事業の進捗により、真室川町市街地の浸水被害の軽減を図ります。</p>		

事業区分: 河川、補助事業

事業名	とくさがわ 木賊川基幹河川改修事業(補助) (岩手県盛岡市、滝沢村)
------------	--

事業着手: 昭和61年度	完成・供用の目標年度: 平成22年度完成予定(分水路のみ)
---------------------	--------------------------------------

事業の必要性・事業の概要	岩手県
---------------------	-----



「事業の必要性」

木賊川は岩手県の県都盛岡市や滝沢村の市街地を流れる流域面積20.9km²、流路延長約14kmの一級河川です。
平成14年7月の台風6号では、避難勧告1,253世帯、床上浸水16戸、床下浸水103戸の被害を受け、さらに平成17年8月にも浸水被害が発生するなど早期の治水対策が必要となっています。

「事業の概要」

治水対策は、河道改修と遊水地、分水路を計画しており、事業効果の早期発現を図るため、分水路工事を先行実施し、浸水被害の軽減を図ります。

計画延長 L=6,000m

整備内容 本川河川改修L=4,400m、遊水地A=26.9ha、分水路L=1,300m、(諸葛川L=300m)



平成17年8月15日浸水状況



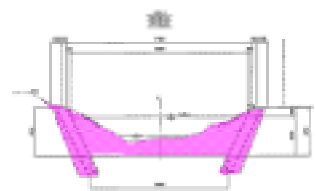
国道4号北大橋



上堂地区



J R 高架下



諸葛川河川改修横断面図

平成17年度補正予算による事業内容	
--------------------------	--

分水路改修工事の一部である諸葛川拡幅工事(100m)を実施します。

平成17年度補正事業費: 104百万円	
----------------------------	--

事業効果	分水路改修工事に着手することにより、早期完成による、盛岡市や滝沢村市街地の浸水被害の軽減を図ることができます。
-------------	---

事業区分: 下水道、補助事業

事業名	おおつち 大槌町公共下水道事業(おおまち 大町排水区施設整備) (補助) (岩手県大槌町)
------------	--

事業着手: 平成5年度	完成・供用の目標年度: 平成25年度完成予定
--------------------	-------------------------------

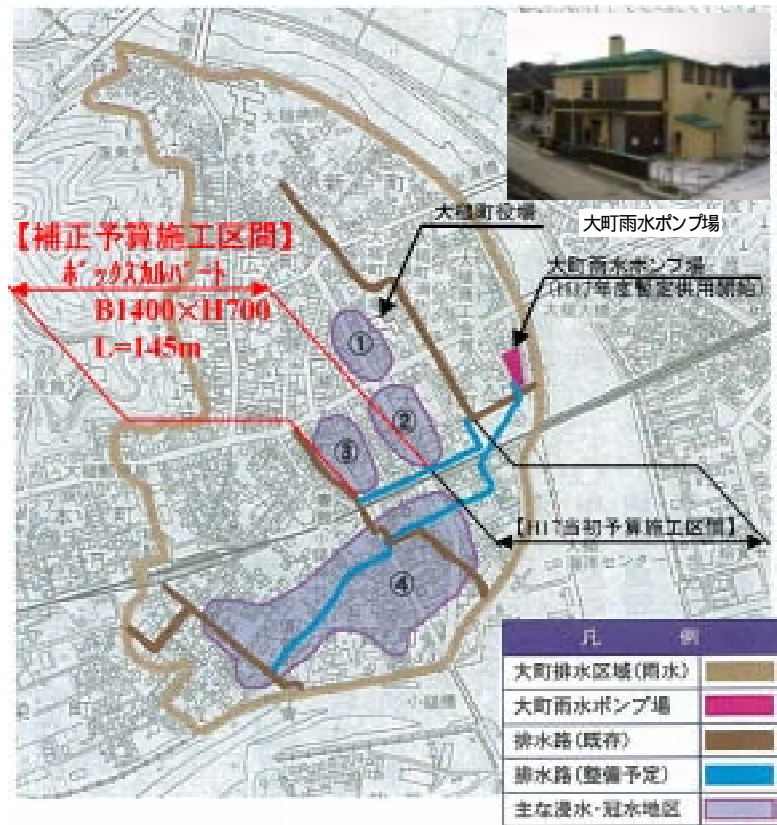
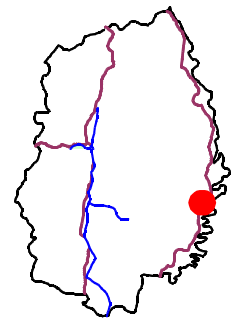
事業の必要性・事業の概要	岩手県
---------------------	-----

「事業の必要性」

平成14年の台風6号などの豪雨により、大槌町の中心市街地は浸水被害が生じており、浸水被害の軽減を図るため下水道による雨水排水機能の強化が必要となっています。

「事業の概要」

既存排水路での排水は、大雨により増水し河川水位が高くなると自然排水できないことから、新たに大町雨水ポンプ場や排水路を整備し、ポンプ場へ集めてきた雨水を強制的に大槌川へ排水するものです。



大町排水区域図及び冠水被害状況(平成14年・台風6号)

図面上の 番号は写真番号を示す

平成17年度補正予算による事業内容

排水路(延長145m)を実施し、事業促進を図ります。

平成17年度補正事業費: 40百万円

事業効果

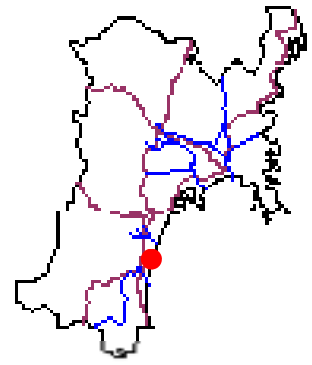
事業の促進により、大槌町中心市街地(大町排水区)の浸水被害の軽減を図ります。

事業区分: 海岸、直轄事業

事業名	せんだいわんなんぶかいがん かばさき 仙台湾南部海岸 蒲崎工区 海岸保全整備事業 (直轄) (宮城県岩沼市)
------------	--

事業着手: 平成15年度	完成・供用の目標年度: 平成20年度完成予定
---------------------	-------------------------------

事業の必要性・事業の概要	宮城県
---------------------	-----



「事業の必要性」

仙台湾南部海岸の岩沼市蒲崎工区では、約1kmの無堤防区間があり、相次ぐ高波により背後の市道の冠水、河岸保安林の流出などの被害が発生しています。また、高潮および今後懸念される宮城県沖地震の津波などから背後地を守るため、早急な堤防整備が必要です。

「事業の概要」

蒲崎工区の南側から無堤防区間解消のため、堤防L = 1,000mを整備し、高潮、津波などから背後地を保全します。



堤防整備イメージ図



平成17年度補正予算による事業内容

蒲崎工区の無堤防区間において、堤防L = 60mを実施します。

平成17年度補正事業費: 130百万円

事業効果

堤防整備により、高潮や津波から、背後にあるし尿処理場、南浜中央病院、市道(二野倉新浜線)の、浸水被害を軽減するとともに、海岸保安林を保全します。

事業区分: 海岸、補助事業

事業名	奥戸海岸 局部改良事業 (補助: 事業主体 青森県) (青森県下北郡大間町)
------------	---

事業着手: 平成15年度	完成・供用の目標年度: 平成17年度完成予定
---------------------	-------------------------------

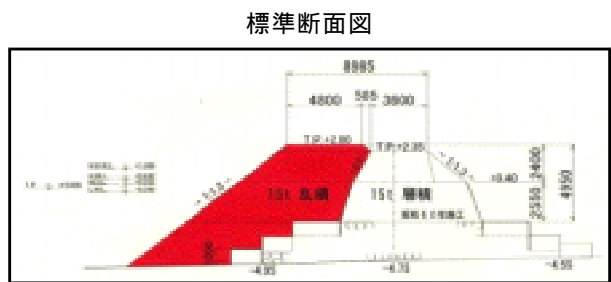
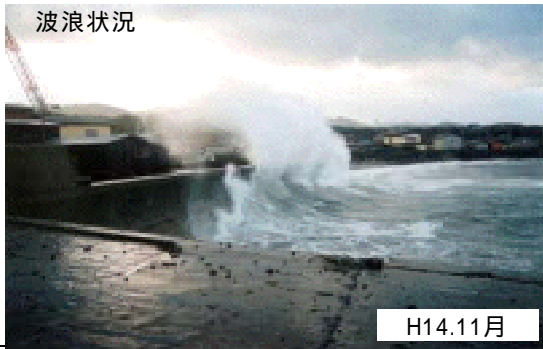
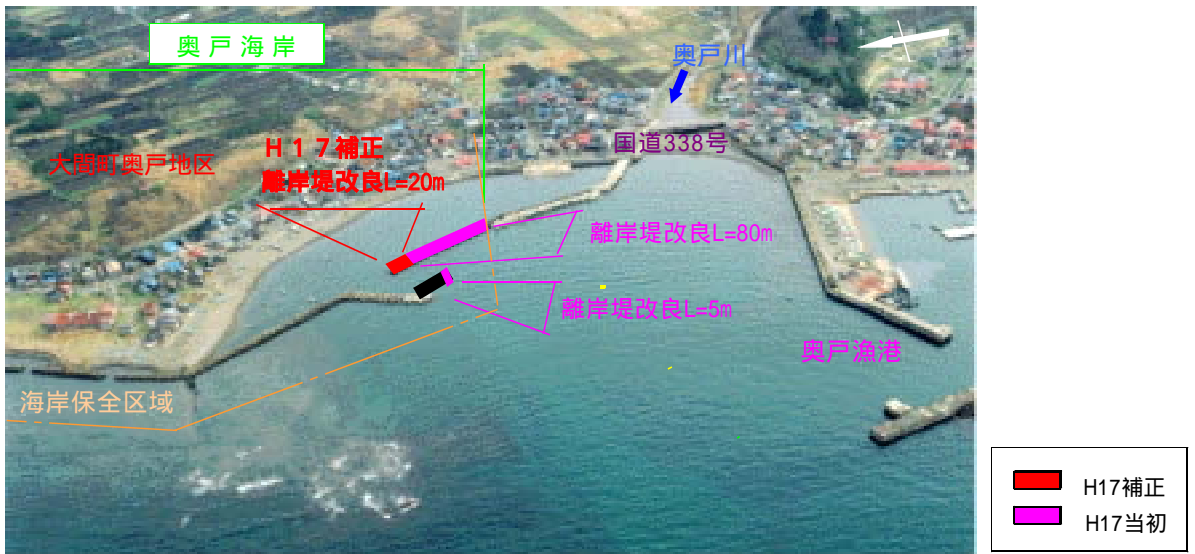
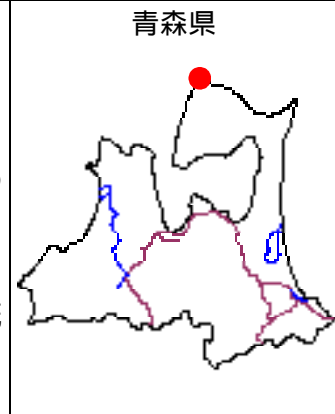
事業の必要性・事業の概要	青森県
---------------------	-----

「事業の必要性」

奥戸海岸は、本州最北端にある大間町の西海岸で津軽海峡に面しており、台風や冬季風浪による影響が著しい海岸です。背後には人家、資産が集中し、下北半島を周回する国道338号がありますが、波浪時には浸水や国道の通行止め等の被害が発生し、早急な波浪対策が必要となっています。

「事業の概要」

波浪の影響が著しい奥戸海岸南側において、離岸堤の新設L=40m、及び既設離岸堤の改良L=100mを実施し、背後地の浸水被害の軽減を図ります。



平成17年度補正予算による事業内容

既設離岸堤の改良L=20mを実施し、平成17年度で事業を完了させます。

平成17年度補正事業費: 27百万円

事業効果

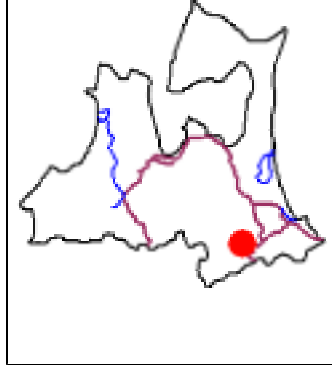
事業の完了により、台風や冬季風浪から背後地の浸水被害軽減を図ります。

事業区分: 砂防、補助事業

事業名	たかやしきさわ 高屋敷沢火山砂防事業 (補助: 事業主体 青森県) (青森県三戸郡南部町)
------------	---

事業着手: 平成14年度	完成・供用の目標年度: 平成20年度完成予定
---------------------	-------------------------------

事業の必要性・事業の概要	青森県
---------------------	-----



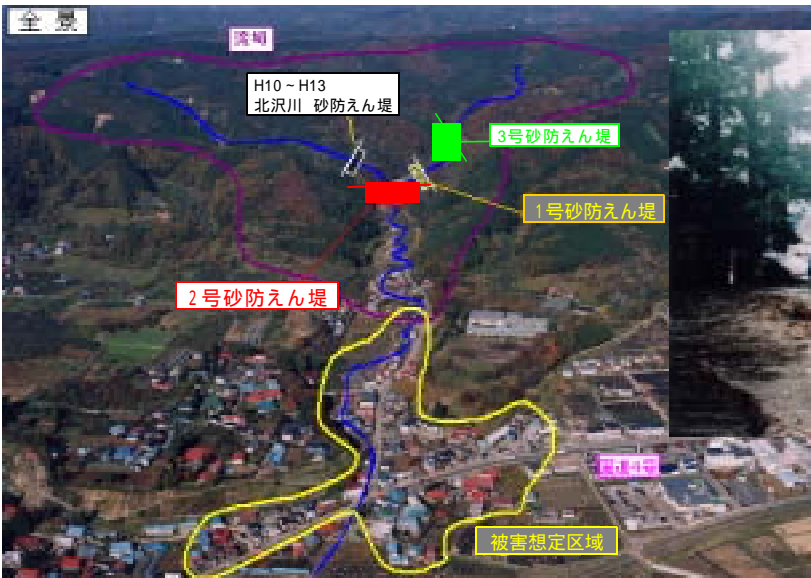
「事業の必要性」

南部町の北西部に位置する高屋敷沢流域の地質は、第三紀層の火山噴出物からなり、風化及び溪岸侵食・荒廃が甚だしく、河床勾配も急なため土砂災害の危険性が高くなっています。平成11年10月の集中豪雨の際には、洪水の氾濫により、南部町全体では、人家115戸、耕地117haに甚大な被害が発生しています。このため、砂防えん堤を設置し土砂流下の防止に努め、災害の発生を未然に防止するものであります。

「事業の概要」

砂防施設の整備により土砂災害に対する安全を確保し、民生の安全を図る必要がある。

全体事業内容 えん堤3基(1号は完成)、遊砂地、橋梁・付替道路



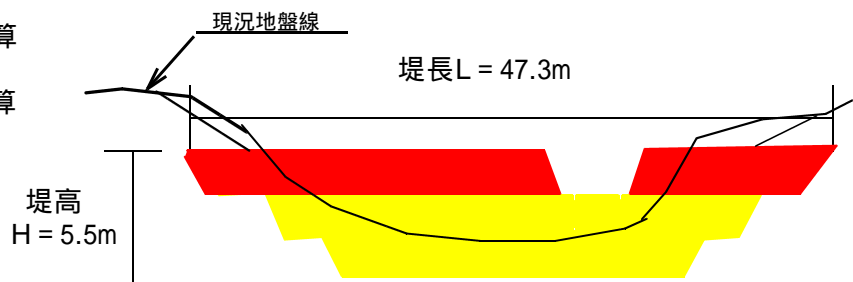
氾濫写真



H11.10 国道4号被災

南部町字沖田面地区

- H17年度補正予算
- H17年度当初予算



平成17年度補正予算による事業内容

平成17年度補正予算により、2号砂防えん堤を完成させます。

平成17年度補正事業費: 40百万円

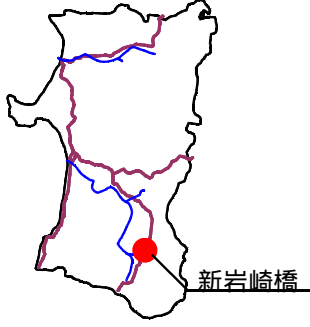
事業効果

えん堤下流部の人家10戸、重要交通網である国道4号等について、土石流被害の軽減を図ります。

事業区分: 道路、直轄事業

事業名	一般国道13号 <small>しんいわさき</small> 新岩崎橋震災対策事業(直轄) 他 21橋 (秋田県湯沢市)
------------	--

事業着手: 平成17年度	完成・供用の目標年度: 平成18年度完成予定
---------------------	-------------------------------

事業の必要性・事業の概要	秋田県 
<p>「事業の必要性」 一般国道13号は福島県福島市を起点とし、秋田県南の主要都市を結び、秋田市に至る主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定されています。新岩崎橋は、一級河川皆瀬川に架橋された橋長318.9mの長大橋であり、逼迫する大規模地震の発生に備え、救助活動や緊急物資輸送に不可欠な緊急輸送道路を確保するため耐震機能の向上が求められています。</p> <p>「事業の概要」 震災対策事業として、巻立てによる橋脚の補強を行い、橋梁の耐震性の向上を図るものです。</p>	

新岩崎橋全景

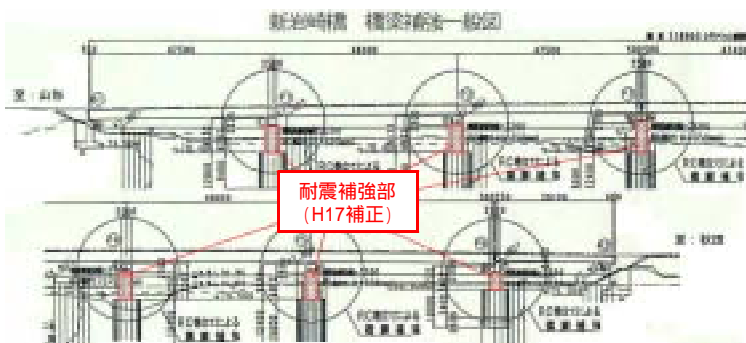


橋脚の被災した事例



H15.7宮城県北部地震で被災した事例

補正予算による実施内容



補強のイメージ

橋脚補強の実施例



平成17年度補正予算による事業内容

新岩崎橋では補正予算の充当により、新たに鉄筋コンクリートの巻立てによる橋脚補強工事に着手し、震災対策を促進します。

**平成17年度補正事業費: (直轄) 960百万円(うち新岩崎橋: 120百万円)
(補助) 870百万円**

事業効果

耐震性能が低い橋梁を有する緊急輸送道路の機能が向上し大規模地震時の安全性が高まります。

事業区分：港湾、補助事業

事業名	はちのへ はつたろう 八戸港八太郎地区 橋梁耐震改良 及び 防災拠点緑地整備事業 (青森県八戸市)
------------	---

事業着手：平成15年度	完成・供用の目標年度：平成25年度完成予定
--------------------	------------------------------

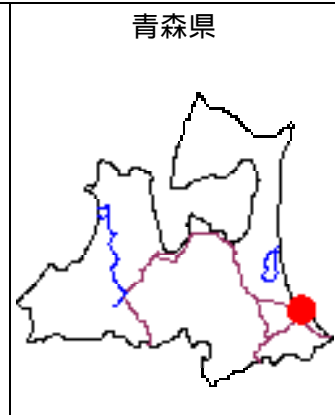
事業の必要性・事業の概要	青森県
---------------------	-----

「事業の必要性」

八戸港は、国際コンテナ航路やフェリー等の国内航路及びエネルギーや資源の輸入配分基地として北東北地域の社会、経済を支える重要な役割を果たしている他、地震等の大規模災害発生時には、港湾背後にある八戸市への緊急物資輸送の拠点として、防災機能を強化することが求められています。

「事業の概要」

八戸港八太郎地区3号ふ頭の耐震強化岸壁に隣接する、防災拠点緑地を整備するとともに、港と市街地や幹線道路を結ぶ蓮沼陸橋の耐震改良を行います。



平成17年度補正予算による事業内容

八太郎地区蓮沼陸橋において、落橋防止などの耐震改良を実施します。
八太郎地区緑地において、防災拠点緑地としての機能を整備します。

平成17年度補正事業費：168百万円

事業効果

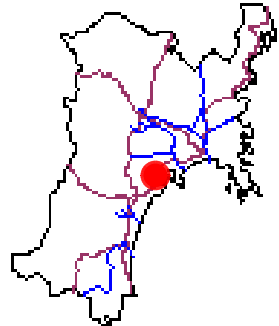
八戸港及び背後地域において災害対応機能の強化を図ります。

事業区分:直轄事業

事業名	しおがまこうわん 塩釜港湾合同庁舎 (会議棟の耐震改修) しおがま (宮城県塩釜市)
------------	---

事業着手:平成17年度	完成・供用の目標年度:平成18年度完成予定
--------------------	------------------------------

事業の必要性・事業の概要	宮城県
---------------------	-----

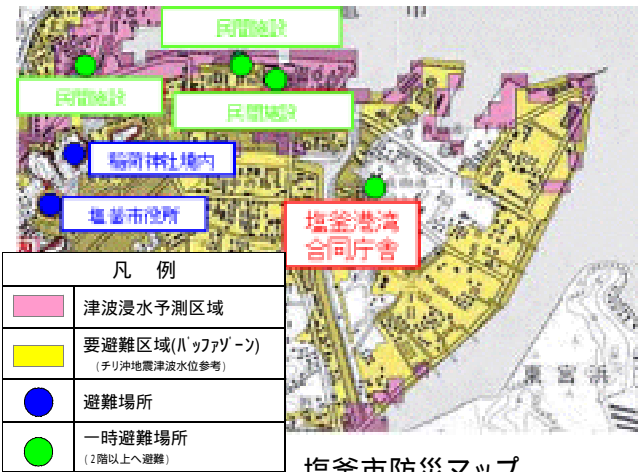


「事業の必要性」

塩釜港湾合同庁舎は、主に庁舎(RC造7階建)、会議棟(RC造2階建)からなる施設であり、昭和44年に建てられました。庁舎については、既に耐震補強を実施しておりますが、会議棟においては未だ補強がされていません。会議棟は、災害活動を行うための拠点及び塩釜市の一時避難場所にも指定されており、早急な耐震改修が求められています。

「事業の概要」

大規模地震発生時に塩釜港湾合同庁舎の会議棟(RC造2階建)の施設機能を十分発揮出来るよう、耐震改修を行います。



塩釜市防災マップ



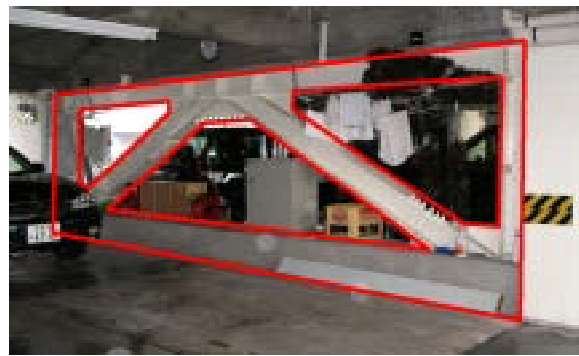
会議棟

耐震改修の事例

壁厚増打



耐震ブレースの増設



平成17年度補正予算による事業内容

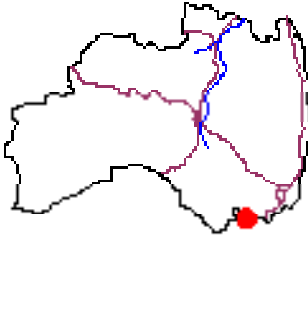

会議棟の耐震改修を実施します。

平成17年度補正事業費:約90百万円

事業効果

耐震改修により施設の安全性が向上することにより、的確かつ迅速な災害活動の実施及び安全な避難場所の確保が図られます。

事業区分：港湾、直轄事業

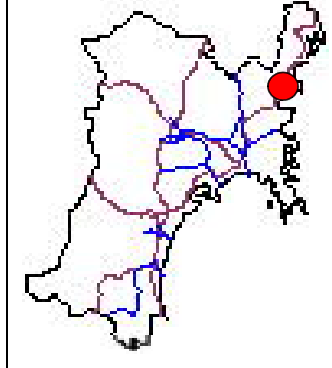
<p>事業名</p>	<p>おな はま ひがしこう 小名浜港東港地区 防波堤整備事業 (直轄) (福島県いわき市)</p>	
<p>事業着手：平成6年度</p>	<p>完成・供用の目標年度：平成30年度完成予定</p>	
<p>事業の必要性・事業の概要</p>	<p>「事業の必要性」 小名浜港東港地区防波堤(第二沖)等の外郭施設は、大規模地震の発生に伴う津波の被害を軽減させる効果があることから、早期の整備が求められています。 また、小名浜港は本州東岸の関東以西地域と東北・北海道地域との内航船舶の主航路筋に位置し、台風等の荒天時には沖合を航行する船舶が避難する港湾となっています。しかし、沖合を航行する船舶隻数に対して必要な避泊水域が不足していることや、近年の船舶大型化の傾向等から、港内水域だけでは手狭となっており、海難事故を未然に防止するため、十分な避泊水域を確保することが求められています。</p>	<p>福島県</p>  <p>外郭施設：波浪から港湾施設を守るための防波堤や護岸等。</p>
<p>「事業の概要」</p>	<p>津波被害の軽減および避泊水域の確保のため、防波堤(第二沖)860mを整備するものです。</p>	
	<p>事業実施箇所 ~ 港内に避泊する避難船舶(H16.12) ~</p>	
<p>平成17年度補正予算による事業内容</p>	<p>早期に事業効果を発現させるため、防波堤(第二沖)約30mを延伸します。</p>	
<p>平成17年度補正事業費：300百万円</p>		
<p>事業効果</p>		
	<p>津波による被害が軽減されます。また、荒天の際、小名浜港に避難できる船舶数が増加し、海難の減少と海上輸送の信頼性の向上を図ります。</p>	

事業区分: 河川、補助事業

事業名	さんりくちく はちまんがわぼうちょうすいもん 三陸地区 八幡川防潮水門地震津波対策 (補助) もとよし みなみさんりく (宮城県本吉郡南三陸町)
------------	---

事業着手: 平成17年度	完成・供用の目標年度: 平成17年度完成予定
---------------------	-------------------------------

事業の必要性・事業の概要	宮城県
---------------------	-----



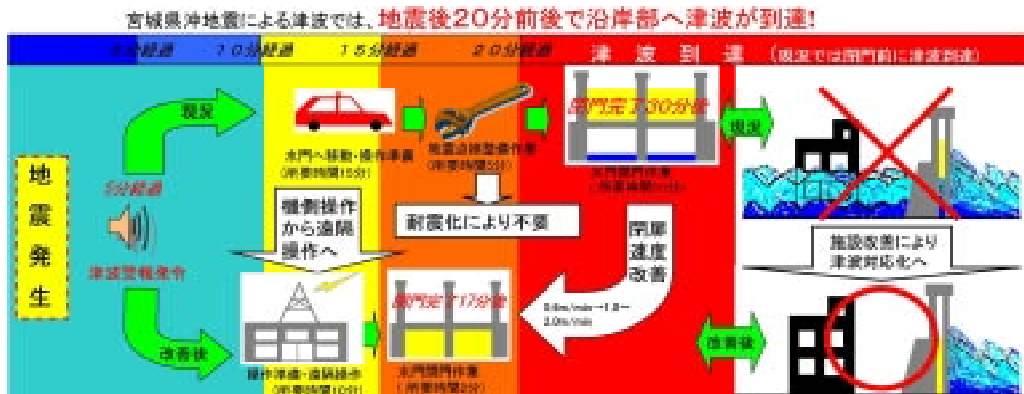
「事業の必要性」

三陸地区沿岸はチリ地震津波等、過去に大きな津波災害を度々被っています。大きな津波の発生が危惧されている宮城県沖地震の発生確率が非常に高まっており、当地における津波対策は緊急の課題となっています。

また、津波の河川遡上による災害を防ぐ防潮水門は、三陸地区沿岸に13基整備されていますが、津波来襲時の即応性(ゲート閉扉時間)が問題となっており、早期の対策が必要となっています。

「事業の概要」

津波到達前の確実なゲート閉扉を行うため、閉扉所要時間の大幅短縮を可能とする「遠隔操作化」を実施します。



平成17年度補正予算による事業内容
八幡川防潮水門の遠隔操作化を実施します。

平成17年度補正事業費: 80百万円

事業効果	にいだがわ みずじりがわ はちまんがわ 旧志津川町市街地にある3水門(新井田川, 水尻川, 八幡川)の津波対策が完了し、津波の河川遡上を防ぎます。
-------------	--

事業区分:道路、直轄事業

事業名	<small>さんりくじゅうかん</small> 三陸縦貫自動車道 <small>やもといしのまきどうろ</small> 一般国道45号 矢本石巻道路 (直轄) <small>いしのまきしへびた いしのまきしものうちょうおあた</small> (宮城県石巻市蛇田～石巻市桃生町太田)
------------	---

事業着手:昭和60年度	完成・供用の目標年度:平成18年度完成予定
--------------------	------------------------------

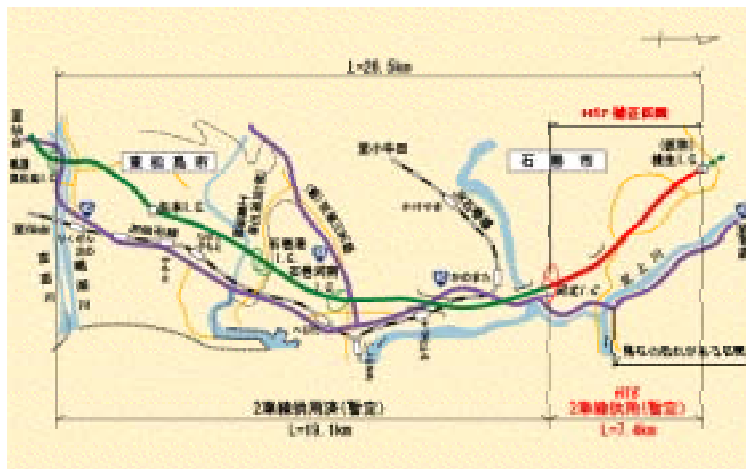
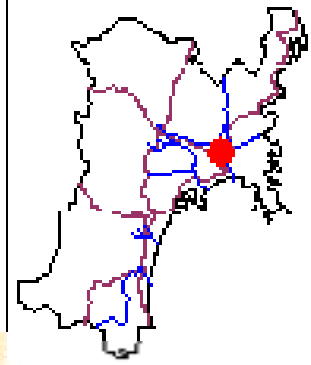
事業の必要性・事業の概要	宮城県
---------------------	-----

「事業の必要性」

一般国道45号における当該区間は、法面上部に浮石が点在し、落石の恐れのある区間があることから、当面の安全を確保するため対策は実施しておりますが、代替機能の確保が求められています。

「事業の概要」

矢本石巻道路は、当該区間の代替機能を確保することで、より安全で信頼性の高い交通を確保するとともに、地域間の広域交流・連携に寄与することを目的とした延長14.1kmの高規格幹線道路です。



国道45号(石巻市成田)に隣接した法面状況



国道45号への落石状況

平成17年度補正予算による事業内容

改良工事(L=7,400m)等を促進し、平成18年度の全線供用を目指します。

平成17年度補正事業費:200百万円

事業効果

落石の恐れのある区間の代替機能が確保されることで、より安全で信頼性の高い交通の確保が図られます。

事業区分：道路、直轄事業

事業名	東北横断自動車道釜石秋田線 一般国道283号仙人峠道路(直轄権限代行) (岩手県釜石市・住田町・遠野市)
------------	--

事業着手：平成4年度	完成・供用の目標年度：平成18年度完成予定
-------------------	------------------------------

事業の必要性・事業の概要

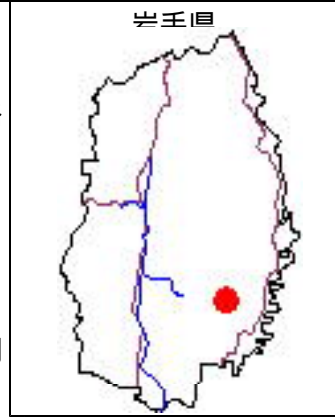
「事業の必要性」

一般国道283号における当該区間は、急カーブ・急勾配が連続した、隘路区間となっており、また事前通行規制区間(連続雨量100mm以上)があるなど、早急な対策が必要となっています。

「事業の概要」

直轄権限代行として施行している仙人峠道路は直轄施工(13.2km)、岩手県施工(5.4km)、全線18.6kmの自動車専用道路です。

現道の平面・縦断線形不良、異常気象時通行規制区間等の交通隘路区間の解消のほか、高規格幹線道路としての地域間交流の拡大・連携、安全確実な交通の確保を目的としています。



現283号 災害発生状況

【 現道は急カーブの連続 】



現仙人トンネル 釜石側坑口～大橋間	
区間長	L = 4.6km
標高差	H = 285m
平均勾配	i = 6.2%
最大勾配	i = 9.6%
最小半径	R = 15m
R < 100	21箇所

平成17年度補正予算による事業内容の予定

滝観洞トンネル舗装工事L=3,000mを実施し、平成18年度の全線供用を目指します。

平成17年度補正事業費：580百万円

事業効果

異常気象時通行規制区間、線形不良区間が解消されることで、より安全で信頼性の高い交通確保が図られます。

事業区分: 道路、直轄

事業名	一般国道46号 ^{せんがん} 仙岩地区防災対策事業 (直轄) (秋田県 ^{せんぼくしたざわこおほない} 仙北市田沢湖生保内)
------------	---

事業着手: 平成17年度	完成・供用の目標年度: 平成21年度完成予定
---------------------	-------------------------------

事業の必要性・事業の概要	秋田県
---------------------	-----

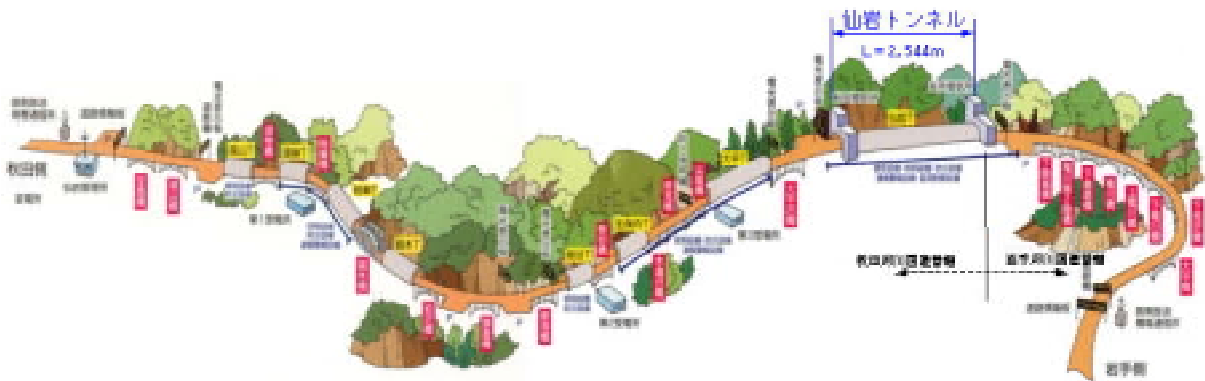
「事業の必要性」

一般国道46号仙岩トンネルは、昭和51年10月に供用開始され、今年供用後30年を経過し、トンネル内のスプリンクラーや非常警報装置などの防災設備、設備制御のための通信施設等の老朽化が著しく、更新が必要となっております。また、仙岩道路は秋田・岩手県境に位置し、厳しい難所をトンネル・橋梁の連続で、近隣には迂回路となる路線がない状況であり、防災機能の向上を求められています。



「事業の概要」

仙岩トンネルにおける各種トンネル管理設備を計画的に更新を行い、トンネルの安全性向上に向けた事業を推進します。
(要更新設備: 制御関連設備、非常警報設備、スプリンクラー、火災検知器、受変電設備等)



経年劣化状況写真

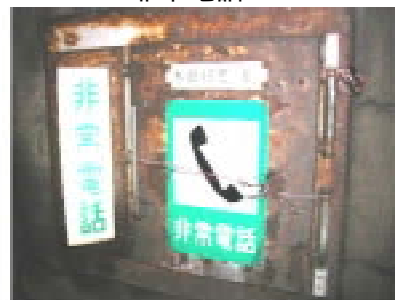
スプリンクラー



非常通報装置



非常電話



平成17年度補正予算による事業内容

補正予算の充当により、機器制御のための通信施設及非常警報設備等の機器更新に着手します。

平成17年度補正事業費: 400百万円

事業効果

トンネル内事故等の非常時における安全管理を確実なものとしします。

事業区分: 道路、補助事業

<p>事業名</p>	<p>一般国道279号 易国間地区防災対策事業 (補助: 事業主体 青森県) (青森県下北郡風間浦村)</p>	
<p>事業着手: 平成14年度</p>	<p>完成・供用の目標年度: 平成19年度予定</p>	
<p>事業の必要性・事業の概要</p>	<p style="text-align: center;">青森県</p>  <p>「事業の必要性」 一般国道279号は、北海道函館市を起点とし、下北半島を縦貫して上北郡野辺地町に至る主要幹線道路であり、当該地域の住民生活を支える唯一の幹線道路です。 当該箇所では、斜面上に存在する不安定な露出岩盤や多数の転石を起因とした大規模落石が相次いで発生していることから、早急な落石対策が急務となっています。</p> <p>「事業の概要」 国道279号易国間地区の約2.7km区間において、不安定岩塊除去及び法面保護工による落石対策を実施し、安全で信頼性の高い道路交通の確保を図るものです。 なお、当面は、緊急性の高い不安定な露出岩盤の除去工事を先行(平成19年度対策完了予定)し、幹線道路としての安全性を早期に確保するものです。</p>	
 <p>H13.11の落石による人身事故</p>	 <p style="text-align: center;">← 一 乃 々 市 国 道 2 7 9 号 大 間 町 →</p>  <p>風化が進む露出岩盤</p>  <p>不安定な積木状の岩塊</p>	
 <p>H15.5の大規模落石(約200t)</p>	<p>平成17年度補正予算による事業内容</p>	
<p>補正予算の充当により、緊急性の高い約220m区間において不安定な露出岩盤の除去工事を実施し、落石の発生源である不安定岩盤の早期の除去完了を目指し、一層の事業進捗を図ります。</p>		
<p>平成17年度補正事業費: 330百万円</p>		
<p>事業効果</p>	<p>不安定な露出岩盤の除去により、地域唯一の幹線道路としての安全性を早期に確保します。</p>	

事業区分:直轄、補助事業

事業名 アスベスト対策事業(公共施設)	
事業着手:平成17年度	完成・供用の目標年度:各施設平成18年度まで完成予定
事業の必要性・事業の概要	
<p>「事業の必要性」 アスベスト繊維は非常に細く、一度吸い込むと体外へ排出されず、何十年も体内にとどまり、がんや悪性中皮腫などの病気を引き起こすと考えられるため、早急な対策が必要となっております。</p> <p>「事業の概要」 アスベストの使用が確認された公共施設、下水道施設等のうち、アスベストが露出していて、飛散ばく露する恐れがある施設について、アスベストの除去作業等の措置を実施します。</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>アスベスト</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>アスベストが壁や天井に吹き付けられている建築物(釜石市大平処理場)</p>  <p>アスベスト</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>拡大図</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>イメージ</p> <p>吹き付けられたアスベストを安全に除去・処分</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>イメージ</p> </div> </div>	
平成17年度補正予算による事業内容	
<p>アスベストの使用が確認された施設について、安全・確実に除去や封じ込め、又は囲い込みを実施します。</p> <p>対策施設 直轄 : 合同庁舎等 7施設 補助 : 市役所等公共建築物、青森県総合運動公園、下水道関係施設 民間建築物についても、市町村を通じてアスベスト調査費用の助成を図ります。</p>	
<p>平成17年度補正事業費:(直轄) 56百万円 (補助) 2,634百万円</p>	
事業効果	
<p>アスベストの飛散による健康被害を未然に防止します。</p>	